

プロフィール
バフマン・ザキプール

学歴

- 2008 イラン・アザド大学哲学部卒業
- 2008–2011 東京大学大学院人文社会系研究科イスラム学研究室 研究生
- 2013 大正大学大学院文学研究科宗教学専攻 修士課程修了（修士〈宗教学〉）
- 2017 東洋大学大学院文学研究科哲学専攻 博士後期課程修了（博士〈哲学〉）

職歴

- 2017–2019 放送大学 非常勤講師
- 2018–現在 株式会社Kimiya（旧株式会社Genza）代表取締役社長
- 2019–現在 明治大学兼任講師

主な著作・研究業績

著書

- *Dar Rāh-e Āmūkhtan: Muḥammadrizā Sarkār Ārānī dar Goftogū bā Bahman Zakīpūr darbāre-ye Āmūzesh va Towse‘e*. Nashr-e Ney, Tehran, 2025.
- 『井筒俊彦の比較哲学——神的なものと社会的なものとの争い』知泉書館、2019年。

分担執筆

- “Iranian Intellectuals and the Japanese Idea of ‘Greater Asianism’,” in *Humanities in Iran*, edited by Majid Daneshgar and Mohsen Feyzbakhsh. Brill, 2026.
- “Toshihiko Izutsu,” in *Handbook of Qur’ānic Hermeneutics*, Vol. 6: Qur’ānic Hermeneutics by Non-Muslims, edited by Georges Tamer. De Gruyter, 2026.
- 「枠組み間の対話としての教育——パラドックスから『他者理解』の可能性へ」『海・船・資源のためのリスクマネジメント』大河内美香編、海文堂出版、2026年。
- 「現代イランにおける諸宗教の共生の実態と課題」『宗教の壁を乗り越える——多文化共生社会への思想的基盤』宮本久義・堀内俊郎編、ノンブル社、2016年。

学術論文

- 「井筒俊彦の東洋哲学における〈歴史〉の意義——アンリ・コルバンの哲学が井筒に与えた影響について」『比較思想研究』第42号、2016年。
- 「井筒俊彦の東洋哲学とスフラワルディー哲学」『宗教哲学研究』第33号、2016年。
- 「アンリ・コルバンとイラン革命」『地域文化研究』第17号、2016年。

その他の論考

- 「テヘラン——様々な文化が共生する場所」
『NARASIA Q』第5号、2013年。
- 「イスラームにおける人道思想——シーア派の観点から」『人道研究ジャーナル』第7巻、日本赤十字国際人道研究センター、2018年。

翻訳・編纂

- 藤田正勝「比較哲学の意義と可能性」（ペルシア語訳）、季刊誌 Ketab-e Mah-e Falsafe、No.63、2012年。
- 小野純一「井筒俊彦哲学の中心意味」（ペルシア語訳）、月刊誌 Ettelaat-e Hekmat va Marefat、No.111、2015年。
- 永井晋「『東洋哲学』とは何か——西田幾多郎と近代日本の哲学」（ペルシア語訳）、季刊誌 Ketab-e Mah-e Falsafe、No.83、2015年。
- Shayegan Yegane, “The Accidentality of Existence in Avicenna and its Critique by Averroes,” in *Journal of Persianate Studies*, edited by Bahman Zakipour and Samaneh Gachpaziyan. Brill, 2017.
- 司馬遼太郎・井筒俊彦「二十世紀末の闇と光」（ペルシア語訳）、月刊誌 Bokhara、No.135、2020年。

研究助成

- 2018 井上円了記念研究助成（刊行助成）

受賞・表彰

- 2025 在外公館長表彰（在イラン日本国大使館）

資格

- 居合道 四段
- 合気道 初段

専門分野

比較哲学、教育開発、東洋思想、宗教哲学、異文化理解